

## 6. その他

以下では読者の皆様からいただいたご指摘・ご質問に回答します。

### 1) p.10 下から 4 行目 (平均消費性向、貯蓄率)

本においては、以下の記載がございます。

表 0.2 によれば、2021 年における勤労者世帯の平均消費性向は約 60% ( $=30.9/49.3$ )、貯蓄率の値は約 40%となります。

しかしながら、 $30.9/49.3$  の値を正確に計算すると 60 でなく約 63 となります。つまり、より正確には平均消費性向は約 63%、貯蓄率の値は約 37%となります。

### 2) p.19 図 0.3(可処分所得とその変化率の推移)

図においては、(a), (b)ともに小数第二位を四捨五入した数値を掲示しています。ただ、(b)において可処分所得の変化率を計算する際、(a)で示した四捨五入後の可処分所得の値ではなく、家計調査における元データを用いました。従いまして、(b)の変化率は(a)の可処分所得の数字に基づいて算出された変化率と一致しません。図(a)におけるデータをそのまま使いますと(b)における変化率は、左から順に 0.5、1.2、4.8、4.8、4.6 となり、16 年、17 年、19 年において本とは異なった数値となります。四捨五入につきまして本文にて説明をすべきでした。大変失礼いたしました。